

(様式 5)

教師力向上支援事業派遣研修報告書

- 1 所属・職・氏名 富山県立砺波高等学校・教諭・高嶋希佳
- 2 研修期間 令和6年7月25日(木)～令和6年7月26日(金) 2日間
- 3 調査研究課題 企業人との異業種交流を活用した、新しい学習環境作りの研究
- 4 研修機関等 インテック大山研修センター
- 5 研修の概要

富山経済同友会が主催する「教師と企業人との交流」に参加し、企業人の方々の講演を聞きディスカッションすることを通して、より良き学習環境作りを目的に以下のような研修を行った。

日程	内容
7月25日(木)	(1) 講演① 株式会社 MGG 代表取締役社長 牧田 和樹 氏 ディスカッション①「講演会を聞いて得た気づき」 (2) 講演② YKK 株式会社 副社長 黒部事業所長 小林 聖子 氏 ディスカッション②「講演会を聞いて得た気づき」 (3) ディスカッション③「組織運営」 (4) 講演③ 株式会社ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充 氏
7月26日(金)	(5) アクティビティ研修

(1) 講演①

株式会社 MGG 代表取締役社長の牧田和樹氏の講演を拝聴した。牧田氏は株式会社 MGG に29歳で社長に就任し、自身の経営者としての取り組みを通して企業経営に必要なことをお話しいただいた。主に「リーダーシップ」についてご教授いただき、「リーダーシップを発揮できる人」とは「人間的や能力的な魅力のある人が情緒的や論理的な対応をする人」という話が印象に残った。また、高い人間力を持つ子どもの育成について、人間力は「伝播する」と話され、教員が高い人間力を持つことが最も効果的な指導だということをお話いただいた。

その後、講演を踏まえて7人グループでのディスカッションを行った。ディスカッションでは講演にあった「駐車場に白線を引くことが人を動かす要素である」という言葉に対し、学校現場における白線を引くこととは具体的にどんなことか、またどの程度白線を引いてやるのが生徒の成長にとって良いか、ということについて討議した。

(2) 講演②

YKK 株式会社副社長黒部事業所長の小林聖子氏の講演を拝聴した。YKK が製作している多様なファスナー以外にも、黒部市にあるパッシブタウンについて概要や全体計画についてのお話を伺った。また、海外赴任にまつわる自身のキャリアについてもお話しいただき、「運を活かす準備」をしておくことの大切さについてご教授いただいた。

その後のディスカッションでは、講演の中で「やりたいけどきつと自分には無理だというバイアスを自分にかけてはいけない」というお言葉を中心に、生徒の活動においてやりたいこととやらなければならないことのバランスや、どのように自分の可能性を大切にさせ続けるかについて討議した。

(3) ディスカッション③「組織運営」

二つの講演を踏まえて「これからの教師・学校はどうあるべきか」について意見を出し合った。その中で企業と学校の大きなシステムの違いとして、企業はヒエラルキーがあるが学校はヒエラルキーが薄く「なべぶた」であること、学校組織が何も変わる必要はないと感じていることに問題があると指摘され、長期的な視点でこれからの学校組織はどうあるべきかについて教員と企業人の方々と意見を交わした。

#### (4) 講演③

株式会社ユーグレナ代表取締役社長の出雲充氏の講演を拝聴した。出雲氏が学生時代にバングラディッシュに渡航して得た体験や、帰国してからの株式会社ユーグレナの立ち上げと苦勞についてお話いただいた。出雲氏の話から三つのことを学んだ。一つ目は「人生における使命の見つけ方」である。バングラディッシュの栄養失調の子どもたちを助けたいという気持ちから人生の使命を見つけ出したという話は将来何をすれば良いのか分からないという生徒に伝えたい話であると感じた。二つ目は「試行回数的重要性」である。大量生産が難しいミドリムシの培養の成功や出資協力してくれる企業を見つけるまで500回の失敗をしたことから「奇跡＝試行回数×適切な科学技術」という公式を見つけ出したとお話になり、成功には試行回数が必要であることを学んだ。三つ目は、「異なる人間からの意見」である。ユーグレナでは「talk outside」の考えのもと18歳以下のCEOを取り入れており、常に変化に対応する組織作りをしているということである。学校という場・組織において大切な考え方であると感じた。

#### (5) アクティビティ研修

8人のグループで、一見不可能と思われる課題への挑戦を通じてチームワークや問題解決力を養う研修を行った。三つの活動を通して、与えられた課題を適切に把握することの大切さであったり、チームワークとは何かということを考えたりすることができた。特に、「人が育まれるために必要な要素」を考える活動があり「教育」の本質を考えることができた。たくさんの要素が考えられたが、より本質的な「根」となる要素を考えることを通して、私たちのグループは「使命」「感動」「他」という要素が大切であるとの考えに至った。

#### ○終わりに

3人の企業人の方の講演を拝聴し共通していることは「他者との交流」であった。「困ったときには誰々に相談すれば良い」というつてを企業人の方々は持っており、教員も学校内だけで生徒を育てようとするのではなく、他業種の方に頼ることが大事であることを感じた。今回の研修では、たくさんの企業人の方や他校の先生方との交流を深めることができ大変有意義であったと感じる。今回の研修成果を生徒に少しでも多く還元できるように今後の教育活動に取り組んでいきたい。